

心理学 〈 P 4 , P 4 T 〉

教員名

教養・医学教育大講座 心理学 准教授 石井 拓
保健看護学部 教授 増田 匡裕
非常勤講師 恒松 伸

I 一般学習目標

人間はbiological (生物的) psychological (心理的) social (社会的) な存在である。心理学講義では、心理的・社会的な側面から人間の行動と心理に関する基礎的な知識と考え方を学習する。また、心理学実習では、科学としての心理学の基本的な研究方法を学ぶとともに、心理検査の体験を通じて自己理解・他者理解を深める。

II 個別学習目標

心理学 I・II

1. 行動と知覚、学習、記憶、認知、言語、思考、性格との関係を概説できる。
2. 行動の脳内基礎過程を説明できる。
3. 本能行動と学習行動 (適応的な学習、適応的でない学習) を説明できる。
4. レスポンデント条件づけ、オペラント条件づけ、社会的学習を説明できる。
5. 生理的動機、内発的動機、および社会的動機を概説し、それらについて例示できる。
6. 欲求とフラストレーション・葛藤との関係と、適応(防衛)機制について概説できる。
7. 主なストレス学説を概説し、ストレッサーと健康への影響、また対処法を例示できる。
8. こころの発達の原因、遺伝と環境の影響、および各発達段階の特徴を概説できる。
9. パーソナリティの理論と測定法について概説できる。
10. 知能の発達と経年変化を概説できる。
11. 役割理論およびジェンダーの形成を概説できる。
12. 言語的および非言語的コミュニケーションを説明し、文化による違いを例示できる。
13. 話し手と聞き手の役割を説明でき、適切なコミュニケーションスキルが使える。
14. 人間関係における欲求と行動の関係や、その他の心理的要因の影響を概説できる。
15. 主な対人行動 (援助、攻撃等) を概説できる。
16. 集団の中の人間関係 (競争と協同、同調、服従と抵抗、リーダーシップ) を概説できる。
17. 行動療法、認知行動療法、心理教育を説明できる。

心理学実習

1. 心理学の実験・検査を実際に行ない、行動科学的な研究方法を習得する。
2. 実験・検査結果に基づいて推測し、議論を展開する思考法を習得する。
3. 実験・検査結果をレポートにまとめ、科学論文の書き方の基礎を習得する。
4. 実験・検査を通じて、自己理解・他者理解を深め、対人理解の実践的方法を習得する。

III 教育内容 講義項目と担当者

- ・心理学 I (I期) 担当者 石井 拓
 1. 心理学の成り立ち
 2. 心と脳
 3. 感覚の心理学と精神物理学
 4. 知覚と高次認知機能
 5. 生得的行動と習得的行動
 6. 学習 (1) —レスポンデント条件づけ
 7. 学習 (2) —オペラント条件づけ
 8. 学習 (3) —条件づけの応用と社会的学習
 9. 記憶の諸相
 10. 言語と思考
 11. 知能の測定
 12. 知能の構造と発達
 13. 情動の種類と理論
 14. 動機づけの種類と階層関係
 15. 葛藤・ストレスと健康

- ・心理学Ⅱ（Ⅱ期） 担当者 石井 拓・増田 匡裕
 1. 心の発達の原理
 2. ライフサイクル各段階の特徴（1）—新生児期・乳児期
 3. ライフサイクル各段階の特徴（2）—幼児期から児童期
 4. ライフサイクル各段階の特徴（3）—青年期から成人期
 5. ライフサイクル各段階の特徴（4）—高齢期
 6. パーソナリティの類型論と特性論
 7. パーソナリティの測定
 8. 自己の形成と役割取得
 9. 対人認知とバイアス
 10. 対人行動
 11. 言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーション
 12. 社会的スキル
 13. 集団の中の人間関係（1）—同調と服従
 14. 集団の中の人間関係（2）—チームワークとリーダーシップ
 15. 心と文化
- ・心理学実習（Ⅱ期） 担当者 石井 拓・増田 匡裕・恒松 伸
 1. ミュラー・リヤアの錯視
 2. 鏡像描写
 3. 短期記憶
 4. 行動観察
 5. 心理尺度の構成
 6. 性格の認知

Ⅳ 学習および教育方法

- ・心理学Ⅰ・Ⅱ

スライド・プロジェクターや板書等を用いた講義により、基礎知識と考え方を学ぶ。また、演習として講義時間内に随時レポートを作成して発表する。講義時間外には、随時紹介される資料を読む。
- ・心理学実習

1 グループ約8人のグループに分かれ、原則として1回1テーマで実験・検査を行う。実習課題については必要に応じて事前に資料をよく読み、理解しておかなければならない。実習レポートは各自作成し、1週間以内に提出する。

Ⅴ 評価の方法

- ・心理学Ⅰ・Ⅱ

各学期末に実施する筆記試験を80%、授業内の課題実施と発表状況を20%の割合で加味して評価する。ただし、無断欠席があった場合には評価の対象とならない。
- ・心理学実習

すべての回に出席し、すべての課題についてレポートを提出した場合に評価する。各レポートを100点満点で評価し、その平均を総合評価とする。

Ⅵ テキストおよび参考書

授業内で随時紹介する。